



図書通信 12・1月号 ～年の瀬、そして春へ～



ナミヤ雑貨店は、一般的な雑貨店とは違い、悩み事の相談に乗ってくれます。時空を越えた相談から様々な人の繋がりが広がっていきます。心温まる少し不思議なファンタジー作品です。この冬に是非読んでみてください。
1520 重松侑花



主人公「寺田悠」は、雪降る東京で、大学の帰りにあざとかわいい後輩「藤宮光莉」に助けを求められ、家に一泊させることに。それから藤宮と時を重ねていくうちに、二人の距離が縮まっていく。ただ、悠には忘れられない過去があった…。二人が織りなす温かくももどかしい恋物語。寒い冬だからこそ是非読んでみてください。
1534 服部七音



「オリエント急行」に乗ってヨーロッパ横断三日間の旅が始まった。途中、ユーゴスラヴィア山中で大雪のため立ち往生し、密室の中一人のアメリカ人が殺害された。そこに偶然乗り合わせた名探偵が事件を解決していく。ミステリーの女王と呼ばれるアガサ・クリスティーが贈るミステリーの傑作。設定は定番中の定番。しかし、事件の真相はまさに驚天動地。ミステリー入門にも向いている世界的な傑作、是非読んでみてください。
1614 嶋信翔

～12月の注目記事～

島根原発二号機再稼働
7日午後、中国電力は島根原発2号機の原子炉を再稼働させた。複数回の試運転を繰り返し、12月下旬には送電を開始し、翌1月上旬には営業運転再開を目指している。中国電力社長は「安全確保を第一に、再稼働行程を万全に期す」とコメントしている。
静岡新聞12月8日日刊一面より

